



# にじのはし幼稚園 園だより



令和6年6月号  
港区立にじのはし幼稚園  
園長 飯田美弥

先日のにじのはし幼稚園・お台場学園合同運動会では、ご参観いただきありがとうございました。友達や先生と一緒にダンスやかけっこを楽しんでいる様子をご覧いただき、入園・進級後の園児たちの成長を感じていただけたことと思います。また、子どもたちは目の前で小学生や中学生の競技や演技を見て、たくさんの刺激を受けたことでしょう。これからも、お台場学園と連携し、幼稚園の子どもたちが、お兄さんお姉さんのように大きくなることが楽しみになるような交流・連携を続けていけたらと思います。



にじのはし幼稚園は、日本の伝統文化や他国の文化に触れ、  
国際理解につながる経験を充実させます。



○国際理解の意識の芽生えを培うため、幼稚園ネイティブティーチャーと連携し、自国・他国の文化や英語に触れる活動を実施し、異文化への興味をもたせ、異なる文化をもつ人々への受容や共生の態度・能力の基礎を育成します。

(幼稚園経営計画 4 経営の重点の今年度の主な取り組み (5)②より)

さて、もう皆様ご存じの方も多いと思いますが、5月から、港区の施策により、全ての区立幼稚園にネイティブティーチャー（NT）が週3回派遣されることになりました。本園にも5月13日からNTを迎え、一緒に遊んだり、英語の歌を一緒に歌ったりと楽しい時間を過ごしています。そのことを園の公式Xに投稿したところ、区教委が引用して下さったこともあり、大きな反響がありました。とても有難いことであると同時に、私たちが大切にしたいことを改めて意識する必要があると感じました。それが、上にも引用した経営計画の一部です。NTは英語の環境を支えてくれますが、それは小学校以降の授業のように何かを教え込むような形とは異なります。好きな遊びを中心にした幼稚園での生活の中で、自然な形でNTの英語に触れることで、国際理解の意識の芽生えを培うことであるということです。子どもたちは、NTと一緒に遊びながら、自然に英語で挨拶をしたり、英語での物の名前を覚えたりしています。一緒に生活する中で、異文化に触れる体験をし、それぞれが自分のペースで英語に慣れていく、そんなゆったりとした関わりを積み重ねていけたらと思います。

梅雨入りの便りも聞こえ、蒸し暑い日が多くなりますが、1学期の後半も、この時期ならではの楽しい遊びができるよう工夫していきます。

今月もどうぞよろしく願いいたします。

